2021年度第４６回全国視覚障害者情報提供施設大会（高知大会）

各会議の主な内容

【大会テーマ】

　　　「情報共有社会の実現へ ―― 読書バリアフリーの流れを高知から」

【全体会１】

　日時：１０月１３日（水）１１：２０～１２：００

　担当：理事会

　内容：１．2021年度上半期における全視情協の活動（進捗状況）報告

　　　　２．今後の「音訳指導技術講習会（音訳指導員資格認定試験）」について

　　　　３．大会宣言・決議

【全体会２】

　日時：１０月１３日（水）１３：００～１６：００

　担当：理事会

　テーマ：「情報共有社会の実現へ ―― 読書バリアフリーの流れを高知から」

　趣旨：「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法）を追い風に、主管施設でもある「オーテピア高知声と点字の図書館」の取り組みを共有し、点字図書館と公共図書館等の連携をいかに進めるか、どのような課題があるか、をともに考えたいと思います。

　内容：１．基調報告（50分）

　　　　　　高知の取り組みと現状とオーテピアの紹介

　　　　２．事例報告（20～30分×３題）

・公共図書館の読書バリアフリー法への対応の概況と、対応を始めている

図書館の紹介

　　　　　　・盲学校図書館の現状と課題

　　　　　　・都道府県読書バリアフリー計画の策定とその後の整備状況と課題

　　　　３．情報・意見交換

　　　　　　・発表者への質疑応答

　　　　　　・各施設・団体の取り組み紹介（オンライン参加者）

　　　　　　・まとめ

【録音分科会】

　日時：１０月１４日（木）９：３０～１２：００

　担当：録音委員会

　テーマ：「音声デイジー図書の要“校正”について考える

　　　　　　　―― 音訳技術、デイジー編集技術を活かすために」

　趣旨：音声デイジー図書の製作工程において重要な“校正”。

　　　　より良い音声デイジー図書を作るために、校正者はどのような視点で校正を行う　　　　のか、音訳者はどのように校正結果に向き合うのか、職員はどのような役割を担　　　　うのかを考えます。

　内容：１．校正の目的

　　　　　　何のために校正をするのか、製作に携わるすべての職員・ボランティアが

共有したい校正の考え方を確認します。

　　　　２．校正体制について

　　　　　　１５施設への調査を元に、校正回数、校正方法、校正に挙げる項目、どのような人が校正者になっているのかなど、事例を紹介しながら考えます。

　　　　３．音訳技術を活かす校正とは

　　　　　　校正に挙げるべき項目と校正表の書き方（音訳者への伝え方）について考え　　　　　　ます。

　　　　４．デイジー編集技術を活かす校正とは

　　　　　　使いやすいデイジー図書にするための校正ポイントについて考えます。

【点訳分科会】

　日時：１０月１４日（木）１３：００～１５：００

　担当：点訳委員会

　テーマ：「利用者が求める点訳の質を考える

　　　　　　　―― 図書製作における校正の役割を中心に」

　趣旨：校正作業は、点字資料を製作する上で大きな位置を占めますが、校正者の養成方　　　　法や校正方法は施設・団体により異なっているのが現状です。また、県内に多く　　　　の点訳グループが存在する地域では、統一的な対応を行うことに多くの困難が伴　　　　います。

　　　　そこで今回は、点字出版所および点字図書館に長年勤務され、またご自身が点字ユーザーでもある方からお話を伺い、質の高い資料製作を行うための校正について考えます。

　　　　さらに、全視情協加盟施設・団体から事例報告をいただき、皆さんとともに校正の現状と課題を中心に、情報交換を行います。

　内容：開会あいさつ・諸連絡

　　　　第１部　講演

「校正作業の中で大切にされるべきこと ―― 職員・利用者の視点から」

（仮題）

　　　　　　 講師　水谷昌史 氏（日本ライトハウス、東京ヘレン・ケラー協会 元職員）

　　　　第２部　事例報告

　　　　　　「当館における校正作業の現状と課題」

　　　　第３部　情報交換

【電子書籍分科会】

　日時：１０月１４日（木）１５：００～１７：００

　担当：電子書籍委員会

　テーマ：「視覚障害者情報提供施設における電子書籍製作の現状と課題

―― テキストデイジー・マルチメディアデイジー製作にとって望ましい

姿とは」

　趣旨：読書バリアフリー法が成立し、視覚障害者情報提供施設・団体においてはアクセシブルな電子書籍の製作も重要なサービスの一部となっています。そこでテキストデイジー・マルチメディアデイジー等を製作する各施設・団体の現状や課題、工夫点などの情報を共有し、よりよい電子書籍製作体制構築のヒントを探ります。

　内容：１．テキストデイジー・マルチメディアデイジー製作施設へのアンケート（製作　　　　　　体制や環境）結果報告

　　　　２．Producer1.4.2.0バージョンアップ内容について

　　　　３．テキストデイジーの各種プレイヤーでの再生状況の違いについて

　　　（以上）